

〇〇地域 温室効果ガス削減飼養管理マニュアル

～グリーンな飼養体系加速化事業～

1、基本情報

地域名	〇〇県△△地域
事業実施主体	〇〇県△△地域酪農協議会
対象畜種	乳用牛
作成年月	令和〇年〇月

・飼養管理マニュアルの策定にあたっては、様式を任意としております。本資料はあくまで参考例としてお示しするものですが、実情に応じて適時調整の上、ご活用ください。
・飼養管理マニュアルには、原則、事業実施計画書で検証するとした全ての技術について記載してください。

2、取組内容

環境負荷低減の取組内容
<input type="checkbox"/> アミノ酸バランス改善飼料の給与
<input type="checkbox"/> 肉用牛へのバイパスアミノ酸の給与
<input checked="" type="checkbox"/> 牛の暖気中のメタンを削減する飼料添加物を含む飼料の給与
<input checked="" type="checkbox"/> その他畜産由来の温室効果ガスの削減に資する技術 (強制発酵施設での家畜排せつ物の処理)

3、温室効果ガス削減方法

検証内容	カシューナッツ殻液（有効成分〇％） 強制発酵施設での家畜排せつ物処理（スクリー式攪拌装置での処理）
給与方法	配合飼料メーカーにて均一に混合し給与。
給与量	〇g/日・頭（乾物摂取量に対して有効成分〇％計算）
導入方法	段階的に給与量を調整（1週目〇g、2週目以降〇g）
給与期間	搾乳期間に通年給与（令和〇年〇月〇日～〇年〇月〇日）
期待される効果	暖気に含まれるメタンの削減によりGHG〇％削減。 家畜排せつ物管理のGHGを〇％削減。

4、家畜への効果等

家畜への影響 (健康状態や採食状況等)	健康状態や採食状況に有意な変化は認められなかった。
生産物への影響 (生産量や肉質・乳質等)	乳量及び乳質については影響がみられなかった。
費用対効果	飼料添加物の購入および検証に伴いコストは上昇したものの、乳量が増加した時期もあったため今後総合的なコストを引き続き検証していく。
収益の効率化に向けた工夫	「環境に配慮したアイスクリーム」として販売したところ、売上が〇％増加した。今後は、みえるらべるやJ-クレジット制度の活用による収益の効率化を図る。
導入にあたっての留意点 (検証の結果、導入しない場合はその理由)	推奨給与量を遵守する必要がある。 採食状況を日々確認する必要がある。
その他	家畜排せつ物の切り返しが不要となり、労働力削減（〇時間相当）につながった。

5、(参考) 検証農家概要

検証農家	霞が関ファーム
所在地	東京都千代田区霞が関1-2-1
飼養家畜	乳用牛
飼養頭数	〇頭

〇〇地域 温室効果ガス削減飼養管理マニュアル

～グリーンな飼養体系加速化事業～

1、基本情報

地域名	〇〇県△△地域
事業実施主体	〇〇県△△地域酪農協議会
対象畜種	肉用牛（経産牛）
作成年月	令和〇年〇月

・飼養管理マニュアルの策定にあたっては、様式を任意としております。本資料はあくまで参考例としてお示しするものですが、実情に応じて適時調整の上、ご活用ください。
・飼養管理マニュアルには、原則、事業実施計画書で検証するとした全ての技術について記載してください。

2、取組内容

環境負荷低減の取組内容
<input type="checkbox"/> アミノ酸バランス改善飼料の給与
<input checked="" type="checkbox"/> 肉用牛へのバイパスアミノ酸の給与
<input type="checkbox"/> 牛の暖気中のメタンを削減する飼料添加物を含む飼料の給与
<input checked="" type="checkbox"/> その他畜産由来の温室効果ガスの削減に資する技術 (強制発酵施設での家畜排せつ物の処理)

3、温室効果ガス削減方法

検証内容	バイパスアミノ酸の給与 強制発酵施設での家畜排せつ物処理（スクリー式攪拌装置での処理）
給与方法	配合飼料メーカーにて均一に混合し給与。
給与量	〇g/日・頭（乾物摂取量に対して有効成分〇％計算）
導入方法	段階的に給与量を調整（1週目〇g、2週目以降〇g）
給与期間	肥育後期に〇か月給与（令和〇年〇月〇日～〇年〇月〇日）
期待される効果	肥育期間の短縮によりGHG〇％削減 家畜排せつ物管理のGHGを〇％削減。

4、家畜への効果等

家畜への影響 (健康状態や採食状況等)	健康状態や採食状況に有意な変化は認められなかった。
生産物への影響 (生産量や肉質・乳質等)	枝肉重量が約〇％増加した。（肥育期間が〇か月短縮した。） 肉質については影響がみられなかった。
費用対効果	飼料添加物の購入および検証に伴いコストは上昇したものの、枝肉重量の増加により、総合的にはコストダウンを実現。
収益の効率化に向けた工夫	「環境にやさしい牛肉」として販売したところ、売上が〇％増加した。今後は、みえるらべるやJ-クレジット制度の活用による収益の効率化を図る。
導入にあたっての留意点 (検証の結果、導入しない場合はその理由)	推奨給与量を遵守する必要がある。 採食状況を日々確認する必要がある。
その他	家畜排せつ物の切り返しが不要となり、労働力削減（〇時間相当）につながった。

5、(参考) 検証農家概要

検証農家	霞が関ファーム
所在地	東京都千代田区霞が関1-2-1
飼養家畜	肉用牛
飼養頭数	〇頭